

- ・手足口病の東京都の定点当たり報告数は、9.02で警報レベルが続いています。
- ・新型コロナウイルス感染症の東京都の定点当たり報告数は、1.17で前週より減少しています。
- ・マイコプラズマ肺炎の東京都の定点当たり報告数は、4.84で今後の動向に注意が必要です。

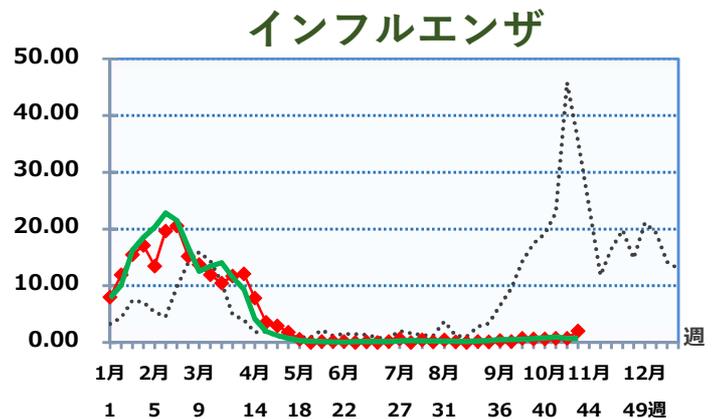
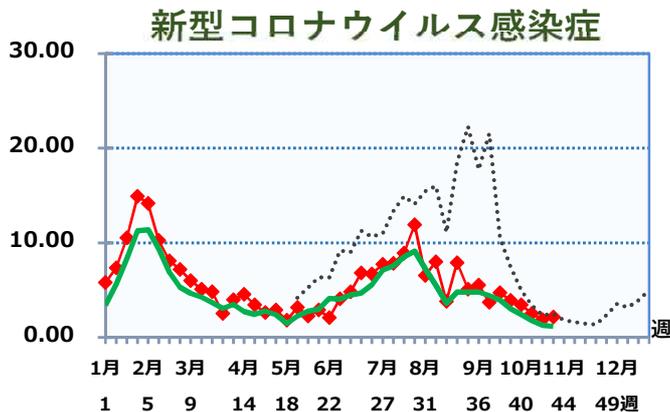
全数報告対象疾患

- （三類）腸管出血性大腸菌感染症 患者1件、血清型・毒素型はO157 VT2、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染
- （四類）E型肝炎 無症状病原体保有者1件、年齢は40代、推定感染地は不明、推定感染経路は不明
- （五類）梅毒 患者1件（早期顕症梅毒Ⅰ期）、性別は男性、年齢は30代、推定感染地は不明、推定感染経路は性的接触（両性間）

定点把握対象疾患

定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数÷定点医療機関数)

..... 2023北区
—◆— 2024北区
— 2024東京都



Topics

基本的な感染症対策について① 「咳エチケット」を実践しましょう！

咳やくしゃみをする時、空気中に飛沫が2mほど飛び散ります。

飛沫の中に含まれるウイルスを鼻や口から吸いこむことで感染することを飛沫感染といいます。風邪やインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症などは飛沫感染するので、感染を防ぐためには「咳エチケット」が大切です。

- ・特に電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」に心がけましょう。
- ・咳やくしゃみをする際は、他の人から顔をそむけ、飛沫が飛ばないように注意しましょう。

<咳エチケットの3つのポイント>

(1) マスクを着用する

咳やくしゃみが出ているときは、マスク（不織布が望ましい）を着用しましょう。

(2) ティッシュ・ハンカチで口や鼻を覆う。

口・鼻を覆ったティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。

(3) 上着の内側や袖で覆う。

咳やくしゃみを手で防いだ場合は、すぐに手を洗いましょう。

<正しいマスクの使い方>

- ①鼻と口の両方を確実に覆う
- ②ゴムひもを耳にかける
- ③隙間がないよう鼻まで覆う

正しいマスクの着用

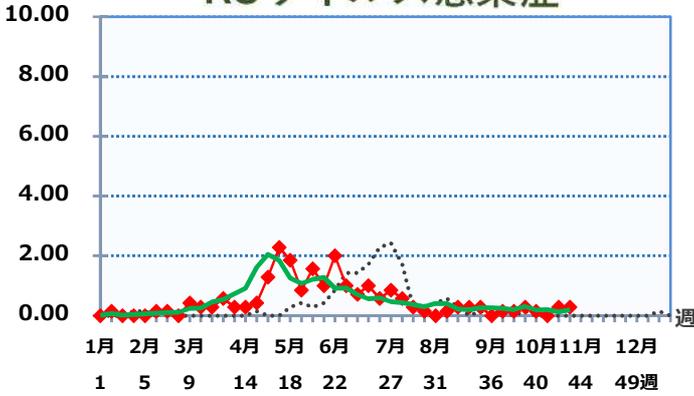


定点把握対象疾患

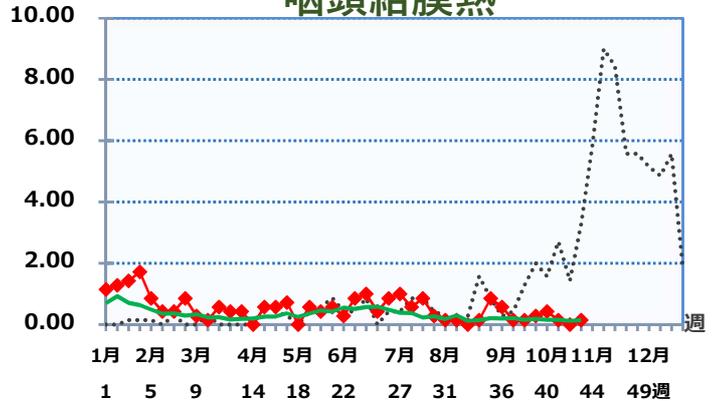
定点医療機関当たり患者報告数
(定点医療機関からの患者報告数 ÷ 定点医療機関数)

- 2023北区
- ◆ 2024北区
- 2024東京都

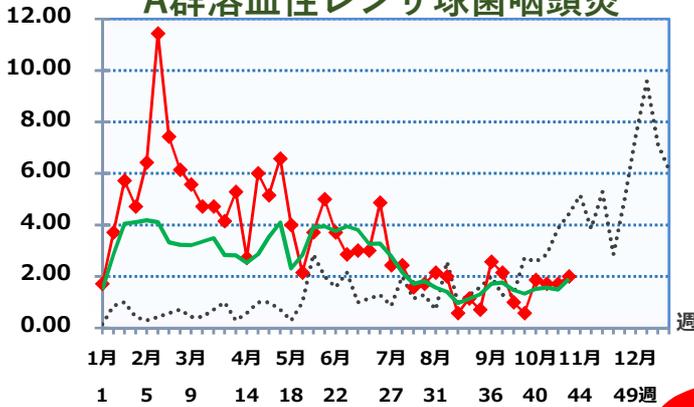
RSウイルス感染症



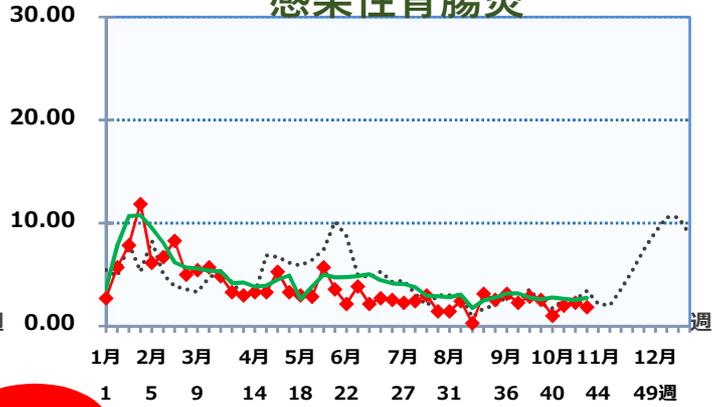
咽頭結膜熱



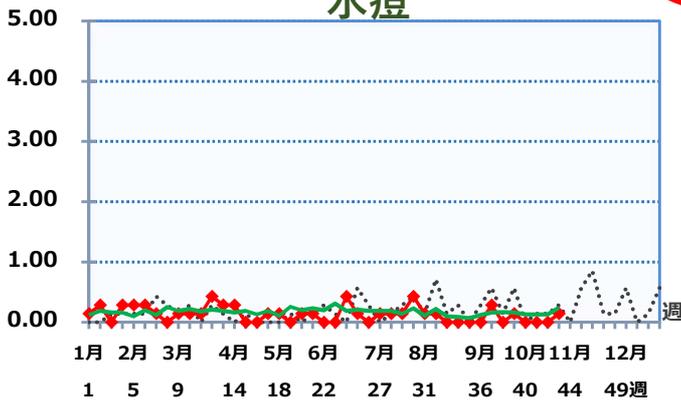
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎



水痘



警報

手足口病



伝染性紅斑



突発性発しん

